

経済性と施工性に優れたアンカー式工法 ラップブロック

ラップブロック工法は、鉄筋で連結した5個の擬似自然石（1セット）にアンカー部材を控え部として一体化し、空積みで積上げるアンカー式空積み工法です。

福島県内の銅スラグ、フライアッシュ、再生骨材を有効利用しているコンクリートブロック製品で、河川護岸や道路擁壁に利用されています。

用途：道路、土地造成、河川護岸ブロック

対応直高：～8.0m

適応勾配：1:0.3～0.5

経済性

- 大型ブロックよりも経済的

対応力

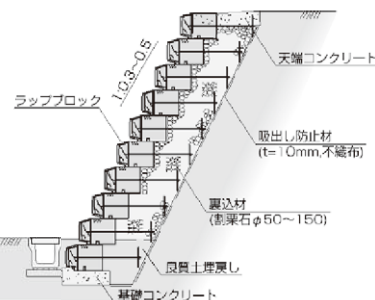
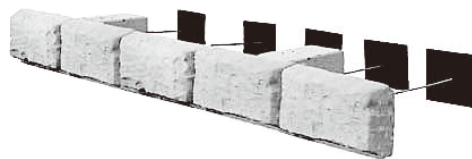
- アンカー効果により土圧等に抵抗、盛土・自動車荷重にも対応可能
- 湧水・地下水のある場所にも有効

施工性

- カーブ施工も容易
- コンクリート養生が不要で、早期施工工事に最適

景観

- 明度6以下 輝度11以上
- 目地が深く、割肌仕上げのため、柔らかな景観を創出



標準断面図



道路実績



河川実績

